

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年11月13日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社エス・サイエンス

コード番号 5721 URL <http://www.s-science.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 廣治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 甲佐 邦彦

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

TEL 03-3216-6431

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	1,181	△53.8	△187	—	△73	—	△43	—
21年3月期第2四半期	2,560	—	△219	—	△402	—	△532	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△0.04	—
21年3月期第2四半期	△0.53	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
22年3月期第2四半期	5,251	—	3,681	—	70.1	3.66
21年3月期	5,027	—	3,725	—	74.1	3.70

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 3,681百万円 21年3月期 3,725百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,780	△30.5	△330	—	△340	—	△350	—	△0.34

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	1,020,698,682株	21年3月期	1,020,698,682株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	14,734,118株	21年3月期	14,724,125株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	1,005,966,577株	21年3月期第2四半期	1,005,979,462株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、景気対策の効果や生産・在庫調整の進展等により改善の兆しは見せておりますが、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境の下、当社の当第2四半期累計期間の売上高につきましては、ニッケル事業では、第1四半期に続きLME価格のゆるやかな上昇に伴い販売価格も上昇基調にありましたが、在庫調整の影響で販売量が前年同期に比べ減少したことにより、売上高は4億89百万円（前年同期比71.1%減）となりました。

教育事業では、夏期講習会での新規生徒募集と退会防止に努めた結果、売上高は6億86百万円（前年同期比8.6%減）となりました。

不動産事業では、サブプライムローン問題、金融の停滞等による影響から不動産市況は大幅に悪化し、そのリスクを回避するため仕入案件は全て見送り、販売案件も見込み価格に達しないため、下期及び来期の市場回復を待って売却することにした結果、売上高は5百万円（前年同期比95.7%減）となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高11億81百万円（前年同期売上高25億60百万円）、営業損失1億87百万円（前年同期営業損失2億19百万円）、経常損失73百万円（前年同期経常損失4億2百万円）、四半期純損失43百万円（前年同期四半期純損失5億32百万円）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態

当第2四半期会計期間末の資産につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ5億3百万円増加し、37億4百万円となりました。これは主に売上債権の増加等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ2億79百万円減少し、15億46百万円となりました。これは主に関係会社株式の売却によるものであります。

負債につきましては、流動負債は前事業年度末に比べ3億15百万円増加し、7億34百万円となりました。これは主に預り金が増加したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ47百万円減少し、8億35百万円となりました。これは主に長期借入金を1年内返済予定長期借入金に振り替えたことによるものであります。

純資産につきましては、43百万円の減少となりました。これは四半期純損失58百万円を計上したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における営業活動による資金の増加は、1億71百万円（前年同期18百万円の増加）となりました。その主な内訳は、預り金の増加等によるものであります。

投資活動による資金の減少は、4億83百万円（前年同期4億28百万円の増加）となりました。その主な内訳は、短期貸付による支出等によるものであります。

財務活動により使用した資金は、50百万円（前年同期51百万円）となりました。その主な内訳は、短期借入金の返済による支出等であります。

この結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は、期首残高に比べ3億62百万円減少し、10億76百万円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成21年8月14日に公表しました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理

① 棚卸資産の評価方法

当第2四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

② 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額項目を重要なものに限定する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,076,192	1,438,693
受取手形	78,043	26,739
売掛金	126,111	73,972
営業未収入金	36,777	63,455
有価証券	455,080	362,625
販売用不動産	892,476	919,933
商品	19,421	45,999
製品	40,645	62,987
原材料	—	19,333
仕掛品	3,420	—
前払費用	35,884	44,790
短期貸付金	800,451	—
1年内回収予定の長期貸付金	2,700	—
未収入金	25,412	32,809
預け金	102,054	102,360
その他	12,424	9,147
貸倒引当金	△2,248	△1,630
流動資産合計	3,704,848	3,201,219
固定資産		
有形固定資産		
建物	685,810	685,190
減価償却累計額	△338,927	△329,843
建物(純額)	346,883	355,347
構築物	29,778	29,778
減価償却累計額	△26,227	△26,011
構築物(純額)	3,550	3,767
機械及び装置	188,502	188,502
減価償却累計額	△183,171	△182,180
機械及び装置(純額)	5,331	6,321
車両運搬具	16,490	14,829
減価償却累計額	△4,084	△13,499
車両運搬具(純額)	12,405	1,330
工具、器具及び備品	188,757	188,024
減価償却累計額	△174,213	△171,907
工具、器具及び備品(純額)	14,544	16,117
有形固定資産合計	382,716	382,883
無形固定資産		
借地権	14,678	14,678

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
ソフトウェア	4,441	6,526
電話加入権	14,702	14,702
無形固定資産合計	33,822	35,906
投資その他の資産		
投資有価証券	82,517	82,551
関係会社株式	699,810	974,810
出資金	1,400	1,400
会員権	24,376	24,376
長期貸付金	2,800	5,300
長期前払費用	5,951	6,802
敷金及び保証金	240,302	242,566
長期未収入金	114,971	98,625
長期営業外未収入金	57,300	57,300
その他	11,313	9,868
貸倒引当金	△110,675	△96,436
投資その他の資産合計	1,130,066	1,407,164
固定資産合計	1,546,605	1,825,954
資産合計	5,251,454	5,027,174
負債の部		
流動負債		
買掛金	26,208	14,697
1年内返済予定の長期借入金	50,000	50,000
未払金	45,294	105,737
未払法人税等	22,586	24,190
前受金	1,773	19,071
賞与引当金	2,364	2,931
未払費用	52,212	59,970
預り金	410,628	10,674
未払消費税等	14,606	22,816
訴訟損失引当金	107,632	107,632
その他	885	1,059
流動負債合計	734,192	418,781
固定負債		
長期借入金	696,000	746,000
退職給付引当金	7,889	7,133
役員退職慰労引当金	52,455	50,480
長期預り金	79,300	79,300
固定負債合計	835,644	882,913
負債合計	1,569,836	1,301,695

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000,000	5,000,000
資本剰余金	1,560,321	1,560,321
利益剰余金	△2,546,662	△2,502,760
自己株式	△331,745	△331,743
株主資本合計	3,681,913	3,725,817
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△295	△338
評価・換算差額等合計	△295	△338
純資産合計	3,681,618	3,725,479
負債純資産合計	5,251,454	5,027,174

(2) 【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	2,560,435	1,181,265
売上原価	2,444,232	1,053,115
売上総利益	116,202	128,150
販売費及び一般管理費	335,631	315,957
営業損失(△)	△219,429	△187,806
営業外収益		
受取利息及び配当金	10,521	5,677
受取賃貸料	5,878	5,918
有価証券評価益	—	92,454
その他	3,814	11,581
営業外収益合計	20,213	115,632
営業外費用		
有価証券評価損	191,553	—
売上割引	5,928	862
その他	5,826	359
営業外費用合計	203,308	1,221
経常損失(△)	△402,524	△73,396
特別利益		
過年度損益修正益	3,270	2,989
固定資産売却益	—	782
関係会社株式売却益	—	49,500
役員退職慰労引当金戻入額	5,740	—
その他	4,450	20
特別利益合計	13,460	53,292
特別損失		
過年度損益修正損	2,454	1,859
減損損失	5,978	—
投資有価証券評価損	78,724	—
事業撤退損	—	1,355
貸倒引当金繰入額	37,215	14,343
その他	12,848	161
特別損失合計	137,221	17,719
税引前四半期純損失(△)	△526,285	△37,823
法人税、住民税及び事業税	6,496	6,078
法人税等合計	6,496	6,078
四半期純損失(△)	△532,781	△43,901

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△526,285	△37,823
減価償却費	24,602	15,993
減損損失	5,978	—
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△49,500
固定資産売却損益(△は益)	—	△782
投資有価証券評価損益(△は益)	78,724	—
受取利息及び受取配当金	△10,521	△5,677
賞与引当金の増減額(△は減少)	△902	△566
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,528	755
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△2,570	1,975
貸倒引当金の増減額(△は減少)	32,775	14,858
売上債権の増減額(△は増加)	267,129	△90,750
仕入債務の増減額(△は減少)	△14,170	12,504
たな卸資産の増減額(△は増加)	8,655	87,489
売買目的有価証券の純増(△)減	△79,975	△92,454
前払費用の増減額(△は増加)	△4,159	8,905
未収入金の増減額(△は増加)	33,192	1,519
預け金の増減額(△は増加)	298,759	—
未払金の増減額(△は減少)	△71,632	△60,144
未払費用の増減額(△は減少)	△11,777	△7,758
預り金の増減額(△は減少)	△3,886	399,953
前受金の増減額(△は減少)	△19,533	△17,297
未払消費税等の増減額(△は減少)	15,789	△8,210
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△11,523	5,294
その他	7,266	2,241
小計	17,466	180,523
利息及び配当金の受取額	15,291	3,997
法人税等の支払額	△13,796	△12,976
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,962	171,545

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,622	△13,207
無形固定資産の取得による支出	△2,500	—
関係会社株式の売却による収入	—	324,500
短期貸付金の回収による収入	400,000	—
短期貸付けによる支出	—	△800,500
長期貸付金の回収による収入	1,580	1,300
敷金及び保証金の回収による収入	11,300	2,350
出資金の回収による収入	11,777	—
その他	9,540	1,812
投資活動によるキャッシュ・フロー	428,075	△483,745
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△50,000	△50,000
配当金の支払額	△1,118	—
その他	△38	△301
財務活動によるキャッシュ・フロー	△51,156	△50,301
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	395,880	△362,501
現金及び現金同等物の期首残高	911,835	1,438,693
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,307,716	1,076,192

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 持分法損益等

当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月 1日 至 平成21年9月30日)	
関連会社に対する投資の金額	679,810 千円
持分法を適用した場合の投資の金額	1,412,124 千円
持分法を適用した場合の投資利益の金額	16,555 千円